

未来への架け橋プロジェクト

～人とアイデアを繋ぐ仕組み～



獨協大学経済学部
高安健一ゼミナール

ビジネス創造チーム

鷹啄りな 柳澤洋平
渡邊未稀 高瀬健人
上道優梨香

第3回おい町まちづくり政策コンテスト

2018年11月10日 悠久館

1995年のおい町

アイデア
思いついた！

それいいね！

起業しよう

支援するよ

人口：10,251人

1人当たり所得：328万円

現在のおおい町

アイデアは
あるんだけどな...

誰が協力して
くれるのかな...

人口：8,351人(1,900人▼)

1人当たり所得：285万円(43万円▼)³

アイデア未活用による悪循環

ア イ デ ア
未 活 用

雇 用 が
生まれない

人 口 減 少

提 案

架け橋ハウス設立による ビジネス創造

5

架け橋ハウス



6

起業家の心配事

地域特性が分からない

失敗した時の恐怖

地域になじめない

7

5つのステップ

1. 地域の人々からアイデア収集
2. 調査活動
3. 起業家への情報発信
4. 地域の人々との信頼関係構築
5. 10年単位で起業家に寄り添う

8

1 地域の人々からアイデア収集

女性の雇用を
増やしたい！

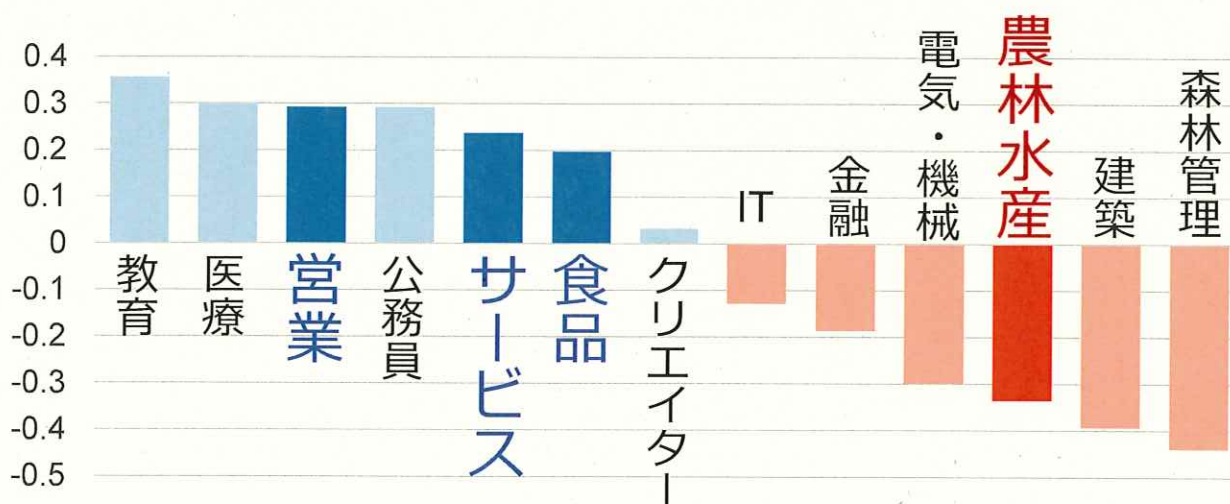
シカ肉ビジネスは
できないか？



9

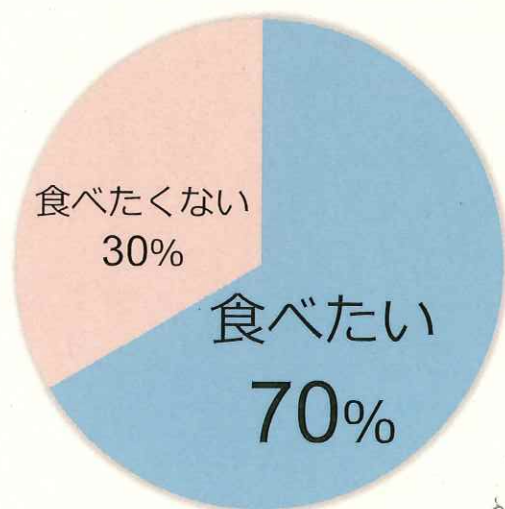
2 調査活動

【おい町の女性が就きたい職業】 n = 82



2 調査活動

【ジビエ料理を食べたいか？】 $n=484$



理由

- ・ 美味しいから
- ・ 美味しそうだから
- ・ 栄養があるから

ジビエには需要がある

出所：ビジネス創造チームによる「ジビエ需要に関するアンケート」

11

3 起業家への情報発信

ビジネスのアイデア



「女性がつくるオシャレな飲食店」

有害鳥獣であるシカは捕獲されたのち、焼却処分されています。美味しいシカ肉は売ればお金になるし、焼却費用も浮いて町のためになると思います。万人受けするようなオシャレなシカ肉飲食店を経営してくれる方を募集しています！

詳しく見る！

ハウスを訪れた女性起業家



4 地域の人々との信頼関係構築

- ・ 起業家と地域の人々を繋ぐ
- ・ 関係を築いて事業に取り組む



猟友会の田中さんとともに(ビジネス創造チーム撮影)

ハウスのおかげで不安払拭！

起業のアイデアがある！

起業後も応援してくれる！

地域になじむことができた！



ビジネス創造チーム撮影

15

「シカ肉バーガー-SHOP」開業

想いがカタチになるおおい町

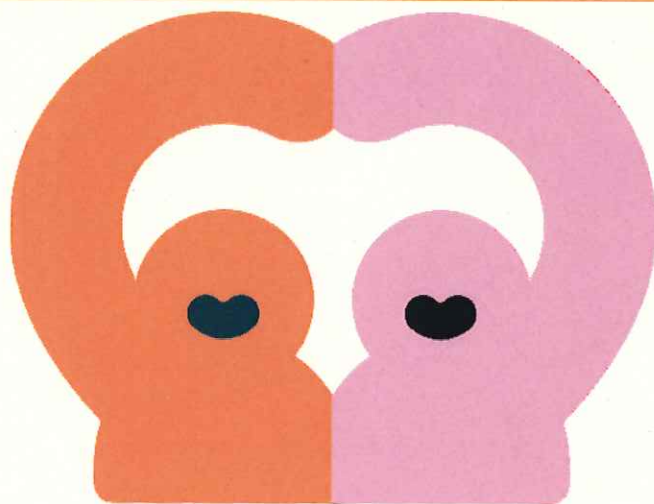


チャレンジショップで販売

町では有害鳥獣と呼ばれるイノシシやシカなどの野生動物が捕獲されています。イノシシは「ぼたん鍋」として人気を博していますが、シカ肉はほとんどが焼却処分されています。「シカ肉の儲かるビジネスが欲しい」「女性の雇用を増やしたい」という声から、シカ肉料理を販売することにしました。さらに、この町では女性が就きたいと思っている職が少ないのが現状です。おおい町出身・在住の女性達にアンケート調査を実施し、「食品」「営業」「サービス」関連の職に就きたいという結果から、この二つの問題を解決できる『シカ肉バーガー-SHOP』を開業。ターゲットはハンバーガーが大好きな若者！お持ち帰り出来る食べ物は日帰り観光客にとって嬉しいですね。

5 10年単位で起業家に寄り添う

- ・ 廃業のリスク軽減
- ・ 事業拡大への支援



17

利益と雇用が順調に拡大

【税引前利益と雇用者数の推移】



起業家の次の夢も支援



私たちのプランのポイント

新規性

- ・ 地域のアイデアと起業家をマッチング
- ・ 長期支援で起業家のリスクを軽減

実現性

- ・ 実際に多くのアイデアを見つけた
- ・ 町が起業を促進している

効果

- ・ 人の繋がり再構築
- ・ 雇用創出による人口減少緩和

起業家誘致による好循環

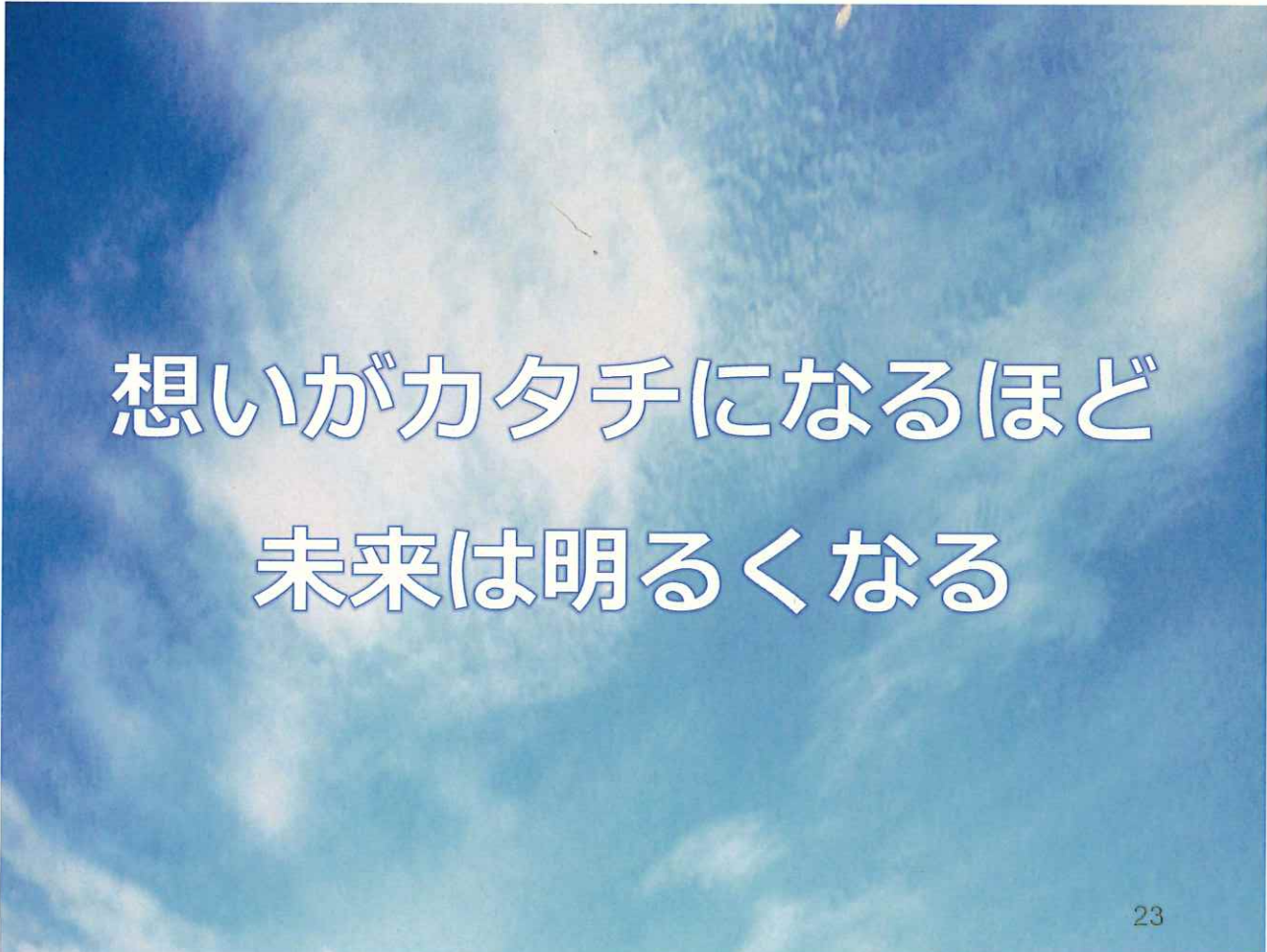


21

2025年のおおい町のイメージ



22



想いがカタチになるほど
未来は明るくなる